

一人一人の輝きがここにある！

校長 舘林 美和

令和7年度の運動会は、天候については随分心配をしたものですが、子どもたちの競技や演技・内容については、3日の金曜日には「絶対にいい運動会になる!」と思えるほど仕上がっていました。それは、「当日によい動きができればよい」「勝つために頑張る」という思いだけではなく、毎日の取組において、運動会のめあて「一人一人が主人公になり 最後までやり切る運動会 ～楽しく・全力・あきらめない～」を意識して練習を積み重ねてきていたため、これまでの『最高の姿』が金曜日には表れていたのだと思います。運動会当日は、その取組に一人一人の「心・気持ち」を思いっきり乗せて、運動会のよさを十分に味わってほしいと願い行いました。

テレビでスポーツ観戦をしていると、記録へ挑戦する姿を見たり、1点の攻防にハラハラドキドキする場面と一緒に一喜一憂したりすることがあります。また、選手の背景を紹介する放送内容に、その選手の生き方やその努力を想像し感動したりすることもあります。今年の運動会では、リレーでも、競技でも、演技でも、そして応援合戦や係の活動においてもどこを切り取っても、世界と戦うスポーツ選手と同じように落合小学校の児童一人一人の懸命な姿の輝きが運動場いっぱい溢れ、観客のみなさんの心を揺さぶることができたのではないかと感じました。

低学年演技「ドンドコドンマイ」では、リズムに乗って踊ることを心から楽しむ姿がありました。左右を間違えちゃっても、とにかくノリノリ。最後の決めポーズはビシッとみんなでそろえるところに、最後まで集中していたことが伝わってきました。



中学年一輪車は、柔らかいグラウンドの状態もなんのその。バランスとタイミングを上手に取りながら数々の技を成功させていきました。時間の中で何度も挑戦する姿や仲間が乗れるようにやさしく支えたり間を取ったりする姿に、心の中で何度も「頑張れ!」「次こそ!」と願い見守った方も多く見えたのではないのでしょうか。

高学年演技の「ソーラン節」は圧巻でした。練習から「静と動」「メリハリ」を意識し、ヤン衆の思いを想像して表現しきりました。「なりきること」に徹した力強い動きは、観客のみなさんが見入ってしまう

「静」と盛大な拍手の「動」を創りだしました。

リレーで転んでもバトンをつなぐあきらめない走り、ルールを守る正々堂々とした姿、用具の位置を丁寧に確認しさと走り去る器具係、大きな声ではっきりと話すことができた実行委員…そして、優勝目指して心をつににした応援合戦。一人一人の思いが動きや表情、声に

表れて素晴らしい運動会を創り上げることができました。

運動会に対する思いは人それぞれです。しかし、苦手だったことに挑戦して、全校で思いを熱くして「やり切った!」と言える体験ができたことに自分の成長と成果を感じてほしいと願います。そこに、「つよい子」が育っていると信じています。



運動会実施に際し、延期判断等で大変ご心配をおかけしました。運動場整備や駐車場利用においてもご協力いただき感謝申し上げます。また、ご家庭での励ましや賞賛の言葉が大変励みとなっています。有難うございました。